

【行革甲子園2014】

取組市町名	久万高原町	所属	総務課
▽取組事例名	元気な地域づくり支援事業の推進	▽取組期間	20年度～

▽取組概要

地域の課題解決や魅力づくりなどの事業を自主的に実施する団体に対して、20万円を限度として補助することにより、地域力の増進を図る。

▽取組みの背景

地域の課題解決や魅力づくりなどの事業を自主的に実施する意欲があっても、金銭的なことで計画を進めることが難しいとの意見が自治会長等から度々出された。

▽取組みの狙い・具体的内容

行政では、手の届きにくい身近な公共又は公共的活動を、地域に担っていただくことで、地域力の増進を図る。

(具体的内容)

自治会又は主として町内に住所を有する者で組織され、町内で活動している団体が行う、下記の事業について、5万円以下の事業についてはその金額、5万円を超え10万円以下の事業については5万円、10万円を超え40万円以下の事業については2分の1の金額を補助することとした。限度額は20万円。

- (1) 地域コミュニティの振興に関する事業
- (2) 生活環境の美化に関する事業
- (3) 地域産業おこしに関する事業
- (4) 地域福祉又は保健の向上に関する事業
- (5) 地域防災に関する事業
- (6) 前各号に掲げるもののほか、町長が特に必要と認める事業

▽取組みを進めていくなかでの課題・問題点（苦労した点）

- ・補助申請等の事務の簡素化を求める声は多い。
- ・公共的事業であるので、全額補助を求める声は多い。

☆工夫した点

- ・ 普段事務をされない方にとっては、申請業務が負担になっているので、申請者が自治会であれば、自治会担当職員に事務を補助してもらおうようにした。（本町は自治会に担当職員を張り付けている。）
- ・ 5万円以下の事業については全額補助することとしたが、自治意識を持っていただくためにも、それをこえる事業については、一部又は半額の負担をお願いしている。

▽取組みの効果

事業の活用について、自治会長会や町広報紙で毎年呼びかけを行っているせいか、件数は増加傾向にある。

20年度	2件	6,7269円
21年度	3件	217,100円
22年度	4件	362,687円
23年度	8件	662,338円
24年度	16件	1,123,898円
25年度	13件	994,361円

▽住民（職員）の反応・評価

件数が増加していることが、評価だと考えているが、リピーターの団体が増える反面、無反応の団体もあり温度差を感じている。

☆取組み効果を踏まえたフォローアップ

本町は、県内で最も高齢化率の高いが、高齢化により事業をやりたくてもできない団体がある。そういった団体を支援するボランティアを呼びかけ、この制度を使が使えれば良いと考えている。

☆将来的な構想のほか、他団体へのアドバイス

過疎高齢化により、地域力の衰えを感じるが多くなっているが、この事業に対する潜在的な需要はまだあると考えている。事務の簡素化や全額補助の要望は多いが、事務については出来る範囲で簡素しており、今後は地域担当職員など事務をフォローできる人材が必要。また地域負担についても、負担率についてはいろいろな考え方があるとしても、自治意識の醸成という意味では、必要だと考えている。柔軟性の高い補助制度であるので、その意味でも地域負担は残すべきだと考えている。住民活動に直結する補助であるので、住民の気持ちになって、柔軟かつ公正に今後もこの制度の活用を図りたい。